



日立FKシリーズ

FK150・FK180・FK300・FK600

最新の機械設備、合理的な生産ライン… 高品質な製品がここから生まれます。

土浦工場では強力な信頼性の高い建設機械を生み出すため、コンピューターによる合理的な工程管理、厳しい品質管理がなされています。また、サービスも性能の一部をモットーに日本全国に広がるサービス網も万全。特にサービス部品の入出庫作業はコンピューター処理で常にスピーディー、確実に供給します。このように完備されたサ



ービス体制によって日立建機の建設機械は優れた性能と高い信頼性を備え、その実力をフルに発揮しています。



日立建機株式会社

本社 東京都千代田区内神田1丁目2番10号
〒101 TEL(03)293-3611HJ

●本カタログの仕様は予告なく変更することがあります。
●詳細仕様は製品カタログをご覧ください。なお、日立油圧ショベルをご使用するにあたっての注意事項等詳細は、各々の取扱説明書をご覧ください。

★くわしくお知りになりたい方は、下記へご連絡ください。



日立建機

「つり」パワーが違う！
使いやすさが違う！

実力派4機種

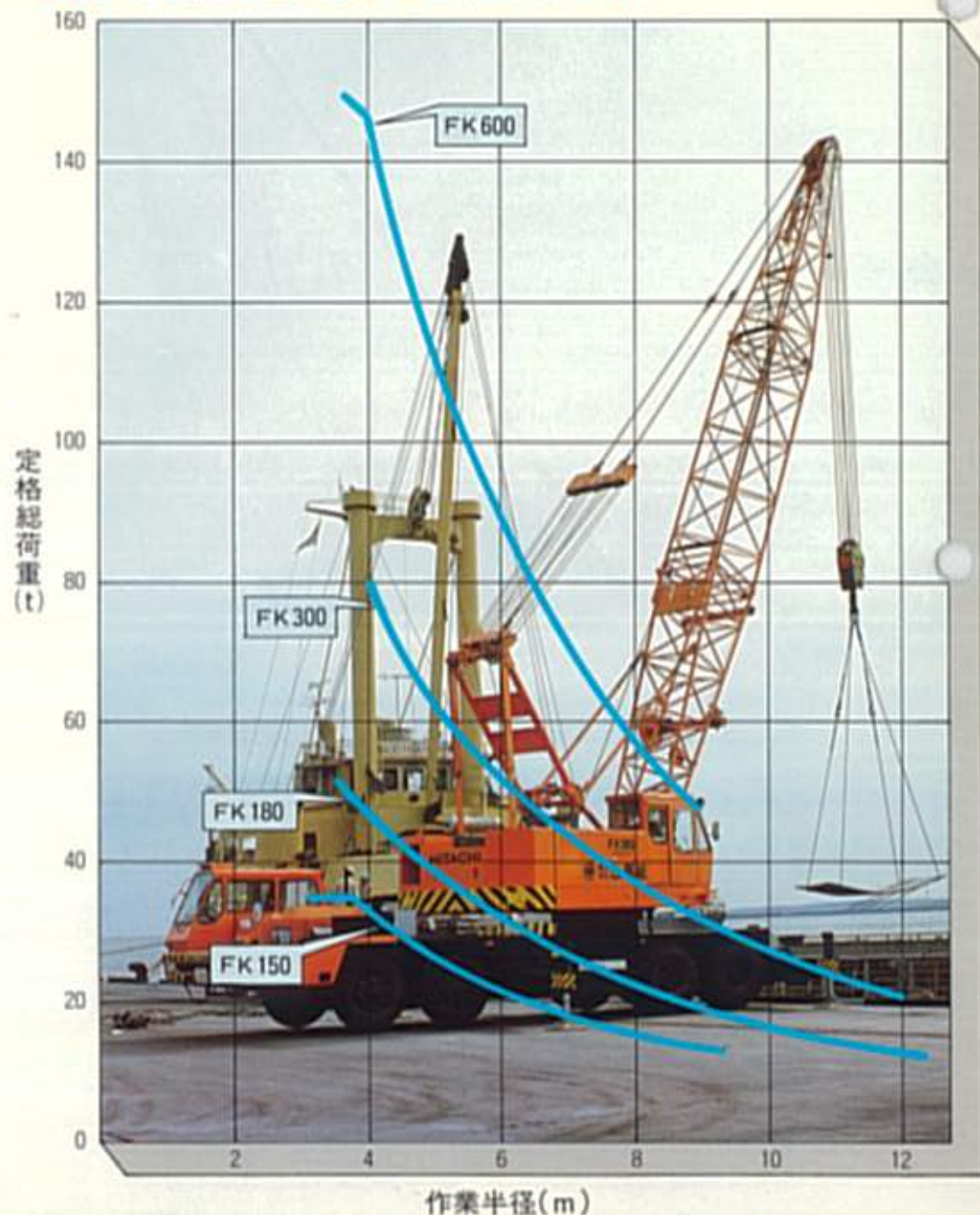
機械式クレーンと油圧式クレーン、
それぞれの長所だけ採り入れました。

機械式クレーンは、つり上能力は大きい。操作性に難点がある。一方、油圧式クレーンは、操作性は優れているが、パワー面でやや物足りない。つまり、機械式、油圧式ともに一長一短あるのが実情です。しかし、それぞれの長所を生かして短所を補完し合えば、理想のクレーンづくりが行なえる…と目立は考えました。そして得た結論が、ブームを機械式にして駆動系を油圧式にしたのが、このFKシリーズトラッククレーンです。

「つり」の威力、一目瞭然。
しかも、操作は軽いレバー・コントロール。

下の図は、それぞれの機種の荷重曲線を表わしたものです。この厳正なデータが、パワーある実力派FKシリーズのすべてを語ってくれます。ブームは、機械式ラチスブームだから、ここの一番の大物ブリに威力を発揮。操作は油圧式だから、簡単かつ軽快。長時間作業でも疲れが少なく、芯合わせなどのインチング操作も容易に行なえます。あらゆる「つり作業」にひとまわり大きく使えるFKシリーズ、ぜひご採用ください。

●クレーン定格総荷重曲線(基本ブーム時の値を示します)



FK150



FK180



FK300



FK600

HITACHI

ひろびろキャブで、軽快な操作。

「使いやすさ」。
それが快適作業の基本だと
日立は考えます。

操作性

操作力が軽く
インチング操作もお手のもの。

●巻上げレバー1本で、巻上げ→停止→動力降下ができます。

レバー位置を中立にもどすと、油圧ブレーキにより短時間にはつり荷が保持されます。このため、足踏みブレーキ操作のタイミングがとりやすく、芯合わせなどのインチング操作が容易にできます。また、つり荷の長時間保持にはメカニカルブレーキが付いていますから安全です。

●巻上げレバー1本で高速・低速の2段切替えができ、作業に合わせてスピード・コントロールができます。



●補巻も動力降下ができます。動力降下によるインチング操作ができるので、ジブ付の高揚程作業で特につり荷を見ながら降ろすことのできない場合でも安全に作業がすすめられます。

旋回

荷振れの少ない
ボールベアリング式旋回輪を採用。

●旋回輪は単列ボールベアリング式で、旋回モータは低速性に優れたプランジャモータを採用。このためスムーズな旋回が得られ、エンジン高速で巻上げ作業時でも超微速の旋回が可能です。

●左旋回、右旋回、旋回ブレーキの3動作が1本のレバーで操作できます。

ブーム起伏

面倒なクラッチ調整は不要。
スムーズに、安全に操作できます。

●ブーム起伏は、自動ブレーキと連動する操作レバーによって、油圧モータの正逆転で行ないます。従来の機械式トラッククレーンに比べて構造・操作とも簡略化を図っており、面倒なクラッチ調整など不要です。

●ブーム降ろしは動力降下で行ない、停止は油圧ブレーキとメカニカルブレーキの2系統を装備。さらにツメ式ドラムロック装置も付いているので安全です。

居住性

視界、風通し、騒音などを考慮。
オペレータ思いの快適キャブ。

●シートは、オペレータの体格に合わせて上下・前後に調整でき、しかもゆったりとしたリクライニング式を採用しています。

●騒音・振動の少ない完全独立キャブです。
●5面ガラス張りの運転室は、明るく快適で、しかも視野が広いので高所作業でも作業地点の確認が容易です。



レバー・計器類

人間工学に基づいて
見やすさ、使いやすさを重視。

●レバー、各種計器、スイッチ等は、左サイドに合理的にまとめて配置。見やすく、簡単に操作できます。

●アクセルペダルは左右連動式ですから、左右どちらのペダルでも操作でき、使いやすさ抜群。また、エンジン回転をセットするアクセルレバーもあり便利です。

●操作レバー(巻上げ、ブーム起伏、旋回)は伸縮式を採用しており、操作しやすい長さに調整できます。(FK150,FK180,FK300)



現場から現場へ、スピード移動。

「輸送性は稼働率を左右する。」
だから日立は、
スピード分解・組立方式を採用。

FK150

上部旋回体を搭載のまま道路運行ができます。(分解の必要なし)

カウンタウエイトをキャリヤフレームの上
に移動するだけで、全装備のまま道路運
行することができます。機動性が高いので、



FK180・FK300

独自の上部旋回体結合方式を採用。

結合・切離しがスピーディにできます。

日立独自のピンジョイント式旋回輪油圧締結装置を採用(特許)。そのため、移動に際しての上部旋回体の切離し、さらに次の現場での結合がスピーディに行なえます。



FK600

自力上下分解・組立装置を装備。大型ながら、手間がかかりません。

キャリヤと上部旋回体の分解・組立は、旋回体下部に取付けたジャッキで行ない、操作は全油圧のリモート・コントロール方式を採用。上下の芯合わせもラクに行なえます。自力で分解・組立ができるので、これまでのように輸送時に多くの人手を要するといった面倒がなく、省力輸送を実現します。



1 キャリヤ・クレーン分解

●フロント、カウンタウエイトなどをはずし、本体をジャッキシリンダによりキャリヤから浮かせます。



2 トレーラ挿入姿勢

●ジャッキシリンダで本体を高く浮かせ、その下にトレーラをもぐり込ませます。



3 トレーラ搭載

●ジャッキシリンダを縮め、トレーラに搭載します。



4 トレーラ輸送姿勢

●本体は分解輸送時、トレーラ輸送ができます。

本機の上まわりをトレーラなどに搭載して輸送する場合は、関係官庁(警察署、国土工事事務所など)の通行許可が必要です。また、輸送時の重量と寸法については、関係法規(道路交通法・道路運送車両法・道路法)にしたがい、事前に確認してください。

(分解重量の一例)

①本体	約26.1t
②カウンタウエイト	約33.3t (10.7t×3個、7.5t×2個、3.8t×2個)



各種安全装置をフル装備。

「安全性はすべてに優先する。」
日立は必要十分な
安全対策を施しました。

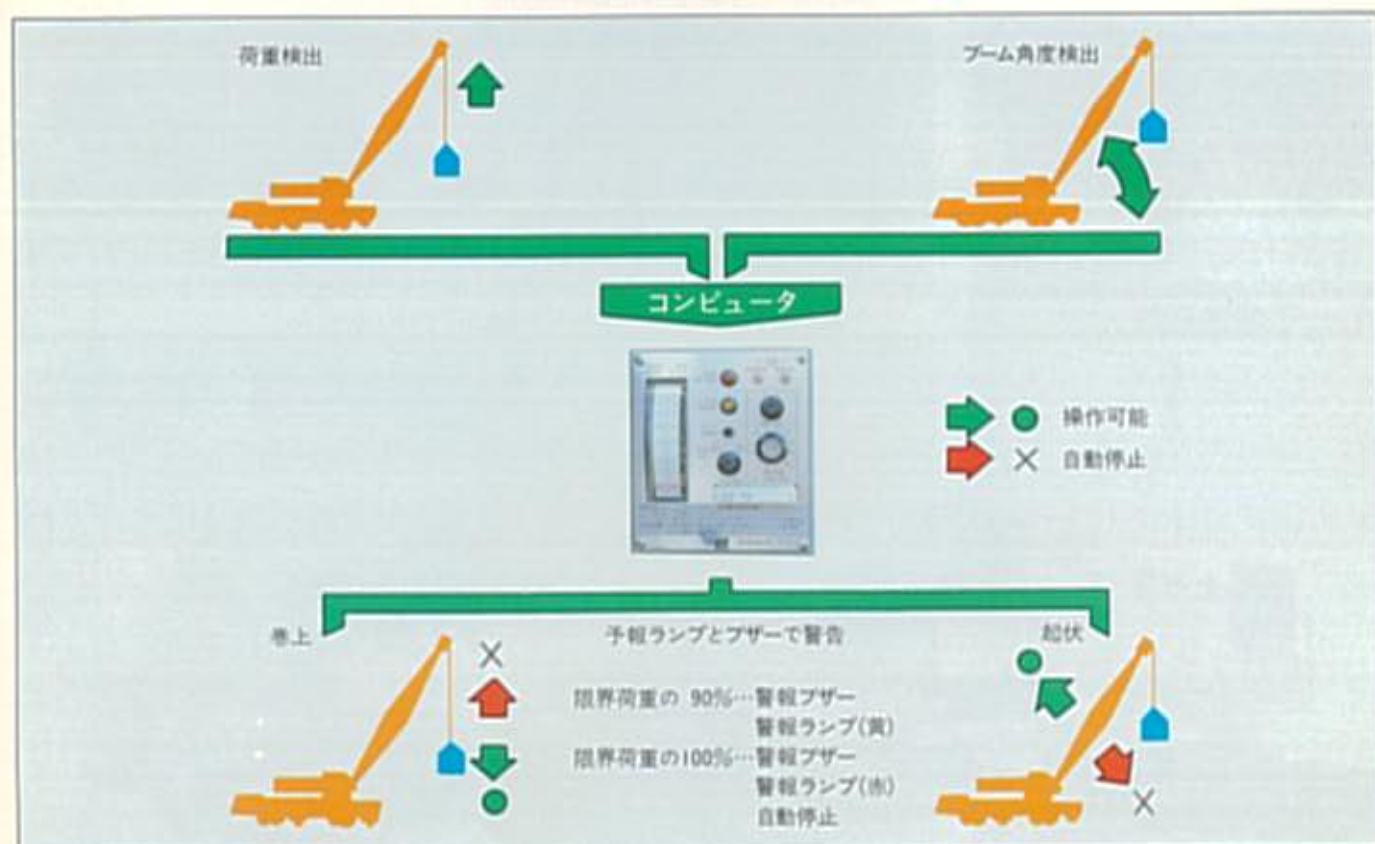
クレーンの転倒事故を未然に防ぐ日立独自の電子式過負荷防止装置
日立ハイリミッタを標準装備しています。

日立ハイリミッタは転倒事故発生を未然に防ぐための電子式過負荷防止装置です。その動きは、つり荷重とブーム角度を自動的に検出し、荷重が限界値の90%になると、黄ランプとブザーで予告します。さらに限界値に達すると、赤ランプとブザーで警報。それと同時に巻上げ、ブーム降ろしを自動的に停止させます。



その他の安全装置(標準装備)

- フック過巻自動停止装置
フックの過巻ブザーと同時にフックの巻上げが自動停止します。
- ブーム過巻自動停止装置
ブームの過巻ブザーと同時にブームの巻上げが自動停止します。
- 万一、油圧回路(巻上げ、ブーム起伏、アウトリガなど)の油圧配管が切れても、チェック弁などが働き事故を防ぎます。
- フックのロープはずれ止め
- 旋回ロック
- ブーム起伏ドラムのドラムロック装置
- ブームバックストップ



点検・整備、段取りがラク。

「手間のかからないクレーンであれ。」
日立は、
ここにも確かな配慮。

保守・点検の
手間を省きました。

- クレーン部分の日常給油箇所は少なく、経済的です。
- 旋回輪の給油は長時間不要です。給油頻度が少なく、手間が省けます。
- 油圧駆動方式のため、クラッチ、ブレーキの調整箇所も少なく、日常整備が楽で経済的です。

作業の段取りに
時間がかかりません。

- Aフレームガントリーの起伏は、油圧シリンダにより、安全に、しかも簡単に行なえます。(FK300, FK600)
- アウトリガの操作は、レバー式。キャリアや両側のいずれからでも操作できます。また、張出し、あるいはジャッキを一気に操作でき、セットがいたって簡単です。(FK600はボタン式)
- ジブガイドラインは、ペンダントロープ式を採用。取扱い、段取りがすばやくできます。
- フックのロープガイドは、スバサを用いることなく簡単にはずれ、ロープソケットを付けたままでロープの掛替えができます。(FK150)
- ブームは高張力パイプ構造で軽量・強化を図っています。また、ブームのジョイントはピン式のため、分解・組立が容易です。

